

冬の交通安全運動始まる

冬の時期は、降雪や凍結によるスリップ事故防止
飲酒の機会も増えるので、飲酒運転をしない

2019年11月11日 12時19分

11日から冬の交通安全運動が始まったことをうけて、札幌市では道と警察が事故防止を呼びかける街頭での啓発活動が行われました。

啓発活動は本格的な雪のシーズンを前にスリップ事故の防止などを呼びかけようと道と警察が行ったもので、会場となった道庁赤れんが庁舎前には関係者およそ250人が参加しました。

はじめに道環境生活部の安全局長が「冬の時期は降雪や凍結によるスリップ事故はもとより、飲酒の機会も増えるので、安全な運転とともに飲酒運転をしないこと、させないことを呼びかけていきたい」とあいさつしました。

夕方4時 塾に向かう途中

自転車の男子中学生、後ろからの車にはねられケガ

自転車はねた車が逃走 ひき逃げ事件として捜査

◇車が動いているときは、いかなる場合も 常に、100%運転に集中しましょう◇

◇夕暮れの、自転車・歩行者、交差点に十分注意しましょう◇

2019/11/10(日) 12:00

9日午後4時すぎ、静岡県の市道で、近くに住む中学3年の男子生徒が乗った自転車に、後ろから走って来た車が衝突しました。自転車の中学生は転倒し、頭に軽いケガをしました。塾に向かう途中だったということです。一方、事故を起こした車はそのまま逃走しました。警察はひき逃げ事件として付近の防犯カメラを調べるなど、車の行方を追っています。

酒気帯び運転疑いで逮捕された消防職員

停職6カ月懲戒処分

◇分かっている…飲酒運転する人間を、どうやってやめさせるか?◇

2019/11/10(日) 9:10

某市は5日、酒気帯び運転の疑いで9月に現行犯逮捕された消防職員を、停職6カ月の懲戒処分にした。7日、市のホームページで発表した。消防長は「信頼回復に職員一丸となって取り組んでまいります」とコメントした。